



株式会社 鹿児島建設新聞
発行人 向江 泰徳
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099-227-5100番
FAX 099-225-1919番
振替口座 02020-5-2558
http://www.kc-news.co.jp

経審等建設業事務手続き代行
〔各種許可・人事労務相談等〕
社会保険労務士法人
行政書士法人 ヒーミング
事業主さん必死加入出来ます
TEL 256-6166
鹿児島市真砂町10-13 (倉庫近く)

マリンポート1期2工区

緑地整備 来年度は実施設計

県議会常任委

県議会は11日、常任委員会を開き、最終日の審議を行った。企画建設委員会では、マリンポートから1期2工区緑地整備基本計画案が公表され、土木部は、23年度から実施設計に入る考えを説明。また環境厚生委員会では、環境林務部が93億円余りの林道・治山事業などを報告。新規に未利用地森林造成調査事業などを盛り込む公共実施箇所などを示した。
(4、5面に実施箇所)

林道・治山事業に93億円

土木部は、鹿児島県港中「公表。全体に芝生広場と中央区で進めている「マリ」の観覧席を設けるほか、リポートかごしまに、離島などの急患搬送用へ、1期計画24haのうち残り2工区13・7haのリポートを設置するなど、緑地整備基本計画案を、災害発生時に対応する空

年度中に完了が見込まれ、24年度から緑地整備に着手する考えなどを説明。検討委員会やパブリックコメントで寄せられた県民意見などを基に、基本計画を取りまとめた。事業費については県当局は「2工区は約16億6000万円、整備した1工区よりやや広い」としながら、同程度の額で整備できる見通しを示した。

また、環境林務部は主要施策のうち、林道・治山事業などを説明。未利

市営住宅短期保全計画

3カ年で300棟

鹿児島市

全 建 全国会議の延期決定

東北でM8.8の巨大地震

11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源とするマグニチュード8.8の巨大地震が発生し、各地で大きな被害が起った。観測が始まった明治以降で国内最大の規模。東北地方を中心に津波が押し寄せ、街を飲み込んだほか、

各地で火災等が発生し、本県にも津波警報が発令され、沿岸部で1m以上の津波が観測された地域もあった。地震の影響で、東北地方のほか、首都圏でも火災等が発生、交通機関も混乱した。気象庁は、この地震を「東

北地方太平洋沖地震」と命名。余震への警戒も含め、危険が及びそうな地域に避難を呼び掛けた。
県では午後3時30分

これを受けて、全国建設業協会では来週予定していた全国会議の延期を決定。県建設業協会の安藤司専務理事は、「今後、政府や

九州新幹線 きょう、全線開通

高速鉄道時代が幕開け



九州新幹線はきょう12日、博多までの257km

操車場で出番を待つ新幹線のN700系車両 (提供・JR九州鹿児島支社)

の全線が開通する。総事業費は約1兆4424億円をかけ、昭和48年の計画決定から39年目の完成

となった。また、新大阪までの直通も追加され、列車は、新たに「みずほ」と「さくら」が運行を開始。県内では、全線開通で本格的な高速鉄道時代が幕を開ける。

新幹線の鹿児島ルートは平成元年、難工事区間とされた「第3紫尾山トンネル」に着工。同8年には、政府が行財政改革に伴う「凍結」を発表し、一時は新幹線の整備が危ぶまれた。紆余曲折を経ながらも、事業は13年にフル規格で整備されることになり、工事が進められてきた。

今後の方針は、建物の劣化度合いなどを踏まえ、計画修繕を含めた詳細で具体的な修繕・改善を計画的に進める。なお、住宅整備の財源となる地域住宅交付金の交付は、25年度までが計画の有無に応じて増減。26年度以降は、策定した事業だけが交付の対象となる。

リバーフロント整備事業 12面

九州新幹線がきょう12日、全線開業する。新幹線開業に伴い、県内各地でさまざまな整備が進められてきた。今回、鹿児島市の中心部を流れる甲突川のリバーフロント整備事業を、写真を交えて紹介する。

「九州新幹線全線開業企画」
九州新幹線がきょう12日、全線開業する。新幹線開業に伴い、県内各地でさまざまな整備が進められてきた。今回、鹿児島市の中心部を流れる甲突川のリバーフロント整備事業を、写真を交えて紹介する。

ウォールソー工事	側溝 水平カッター工事	バスター工事	ワイヤーソー工事	営業品目
壁面の切断・耐震スリット	バリアフリー対策・側溝改修	大型基礎等の静的破壊	橋・ビル・煙突・ダム等の切断	■交通安全施設工事 区画線・防護柵・カーブミラー ■コンクリート維持・補修工事 鉄筋探査・変位制限・落橋防止 ケミカルアンカー・ショットブラスト ■ダイヤモンド工事 ワイヤーソー・ウォールソー フラットソー・コアドリル バスター破壊 先進技術で未来を拓く
				株式会社 西部システム 福岡市国分府中町26-33 TEL 0995-46-9015

「激甚災害」に指定

の建築士会や、国土交通省と連絡調整を進めている。12日には、被災した地域への応急危険度判定士派遣の要請があった場合、速やかに対応するよう各建築士会に協力を求めた。

港から津波で運ばれ、橋の欄干で止まった漁船
(提供＝(株)建設新聞社・宮城)



現場はいま… 東日本大震災

全国建設業協会(全建、浅沼健一会長)は、15日付けで東日本大震災に伴う義援金の拠出を、各都道府県建設業協会会長へ、津波によって大きな被害を受けた東北、関東地区以外の各協会に対して、一口50万円以上の拠出を要請。金額の上限は設けず、各協会の判断に任せ、事務局内に設置した「災害対策協力本部」でも、義援金として500万円を拠出した。今回の地震は、被災地の支援へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

鹿建協にも要請九州ブロック「統一的に対応」全国建設業協会からの義援金要請を受け、九州建設業協会(会長・永野征四郎宮崎県建設業協会)は、15日、支店等へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

県建設協会の安藤司専務理事は、15日、支店等へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

県建設協会の安藤司専務理事は、15日、支店等へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

県建設協会の安藤司専務理事は、15日、支店等へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

県建設協会の安藤司専務理事は、15日、支店等へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

県建設協会の安藤司専務理事は、15日、支店等へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

県建設協会の安藤司専務理事は、15日、支店等へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

県建設協会の安藤司専務理事は、15日、支店等へ、被災地の復興へ、被災者の救済・救済に係る人員派遣や資機材、物資の提供などを行う。支援要請は、全国知事会から各都道府県本部に、東北地方太平洋沖地震被災支援本部(本部長・伊藤祐一郎県知事)を設置した。今後、要請が

指宿港海岸侵食対策へ

九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所は、指宿港海岸侵食対策の検討委員会を立ち上げた。政府予算案には、事業化検証調査費が盛り込まれ、侵食メカニズムの解明と対策工の検討に第一歩を踏み出す。今後のスケジュールは、深淺・汀線測量などの現地調査に着手後、23年度後半に中間報告を実施。同年度末に意見を集約し、新規事業化を目指す。

対策工など検討

同海岸の背後地域は、宿泊施設や住宅が密集。砂浜を活用した砂むし温泉が観光資源となっており、高波・高潮による砂浜の侵食も著しく、汀線が平均で約30m後退している。これまで、突堤や離岸堤などの整備を実施。しかし、複雑な気象条件や地下水位が高いなどの厳しい自然条件等から、対策が十分な効果を発現できていない。

そのため、侵食メカニズムの解明と抜本的な対策について検討する委員会を設置。第1回目の会合は15日、鹿児島市の同事務所で行われた。委員長には、浅野敏之鹿児島大学工学部教授が選出。これまで県が実施した既往調査結果などから、調査課題を確定した。

課題解決のための調査項目には、①波浪・流況観測②高波浪時の波浪計算③台風時期の前後における、侵食メカニズムの解明と抜本的な対策について検討する委員会を設置。第1回目の会合は15日、鹿児島市の同事務所で行われた。委員長には、浅野敏之鹿児島大学工学部教授が選出。これまで県が実施した既往調査結果などから、調査課題を確定した。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

来年度から現地調査

モニターの設置「地形図の活用」「潮位の年間を通じた計画」などに関する意見があり、調査に反映させる。北出徹也所長は「地元からは砂浜の復元と防災対策の要望は強いが、新規事業化には慎重。データが少なく、原因究明のために各種調査に着手する」と経緯を説明。また、浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

浅野委員長は「将来にわたって砂浜の侵食を抑制する防災対策をまとめたい」と意気込みを述べた。

与論町23年度予算案(35.7億円)

最終場建設へ設計着手

与論町の23年度一般会計当初予算案は総額35億7510万円、対前年度比3%増となる。工事費は全体の74%を占める2億6450万5000円を予算化。一般廃棄物最終処分場の整備に向け、設計に着手するほか、宇和寺団地で5号棟の建て替えを行う。早ければ、6月ごろに本体工を発注する見通し。また、県が計画している県営与論団地の整備に向け、造成工を推進する。予定戸数は3棟24戸。町単独費1610万円を充て、ハビタ長崎線(2000㎡)や立長10号線(1100㎡)、西岸当線(2200㎡)などで改良舗装を実施。上田線(1500㎡)や那間茶花線でも同様の整備を行う見通し。

最終処分場の新設を予定。詳細は未定となっているものの、建設予定地は、立長地区のリサイクルセンター付近に検討を進めている。23年度に設計(委託料3021万5000円)を進め、24年度の着工を目指す。宇和寺団地では5号棟の建て替えを行う。早ければ、6月ごろに本体工を発注する見通し。また、県が計画している県営与論団地の整備に向け、造成工を推進する。予定戸数は3棟24戸。町単独費1610万円を充て、ハビタ長崎線(2000㎡)や立長10号線(1100㎡)、西岸当線(2200㎡)などで改良舗装を実施。上田線(1500㎡)や那間茶花線でも同様の整備を行う見通し。

最終処分場の新設を予定。詳細は未定となっているものの、建設予定地は、立長地区のリサイクルセンター付近に検討を進めている。23年度に設計(委託料3021万5000円)を進め、24年度の着工を目指す。宇和寺団地では5号棟の建て替えを行う。早ければ、6月ごろに本体工を発注する見通し。また、県が計画している県営与論団地の整備に向け、造成工を推進する。予定戸数は3棟24戸。町単独費1610万円を充て、ハビタ長崎線(2000㎡)や立長10号線(1100㎡)、西岸当線(2200㎡)などで改良舗装を実施。上田線(1500㎡)や那間茶花線でも同様の整備を行う見通し。

最終処分場の新設を予定。詳細は未定となっているものの、建設予定地は、立長地区のリサイクルセンター付近に検討を進めている。23年度に設計(委託料3021万5000円)を進め、24年度の着工を目指す。宇和寺団地では5号棟の建て替えを行う。早ければ、6月ごろに本体工を発注する見通し。また、県が計画している県営与論団地の整備に向け、造成工を推進する。予定戸数は3棟24戸。町単独費1610万円を充て、ハビタ長崎線(2000㎡)や立長10号線(1100㎡)、西岸当線(2200㎡)などで改良舗装を実施。上田線(1500㎡)や那間茶花線でも同様の整備を行う見通し。



株式会社 鹿児島建設新聞
発行人 向江 泰徳
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099-227-5100 番
FAX 099-225-1919 番
振替口座 02020-5-2558
http://www.kc-news.co.jp

安心システムで21世紀の繁栄を追求する
ビケ足場 レンタルシステム
本社(099) 272-6280
鹿児島(099) 272-6282
分(095) 43-2972
宮崎(098) 30-9680
都(066) 38-6120
延(082) 63-5458
熊本(096) 273-3666
熊本南(096) 25-3555
八代(096) 35-4878

官公庁ランクアップ

コンピューターにて分析・検討指導致します。
建設業許可・経営・決算変更届・入札参加・社会雇用労務保険・産産許可・在留手続・外国人雇用管理・会社設立・各種助成金

事務手続代行 致します

行政書士・社会保険労務士

鹿児島良事務所

TEL(099)257-7500(代)

FAX(099)257-7503

〒890-0056 鹿児島市下葉田4-14-33 (鹿児島水産学館裏)

『かごしま材の家づくり』セミナーのご案内

【主催】 鹿児島県木造住宅推進協議会

【後援】 鹿児島県

【日時・場所】 平成23年3月28日(月)

13:30~16:00

ホテルウェルビューかごしま「潮騒」

(鹿児島市水戸町2丁目4-25 TEL:099-206-3838)

※鹿児島県庁 東側 海岸沿い

【受講料】 無料

【申込期限】 平成23年3月23日(水)

※申込締切前でも、定員になり次第締め切らせていただきます。

また、当日は併せて、平成23年度より開始する「かごしま緑の工務店」の登録制度や、かごしま材を使用して家づくりに取り組む建築主への補助制度「かごしま木の家づくり推進事業」に関する説明も行います。

13:30~15:00

講演：株式会社工務店 代表取締役 安成信次

林野庁 林政審議会委員

「地域産材活用とその有効性」

15:00~15:30

事業説明：鹿児島県木造住宅推進協議会

「かごしま緑の工務店」の登録制度について

「かごしま木の家づくり推進事業」について

15:30~16:00

事業説明：(財)鹿児島県住宅・建築総合センター

「地域『いえ』まもりシステム」について

申し込み先
問い合わせ先

鹿児島県木造住宅推進協議会

(事務局) 鹿児島県住宅・建築総合センター 企画部企画課

〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番22号 TEL099-224-4543 FAX099-226-3963 http://www.kjc.or.jp